

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(世界ランクシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0561

(注)本稿は 2022 年 6 月 22 日から 27 日まで 3 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2022.6.28

前田 高行

北欧が上位を独占、アラブ諸国トップは世界 119 位のカタール:報道の自由度

(世界ランクシリーズ その10 2022年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第10回の世界ランクは、ジャーナリストの NGO 団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称 RSF)が発表した「報道の自由度2022 (Press Freedom Index 2022)」をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ: <https://rsf.org/en/ranking>

1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択された、いくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとって RSF と略称され、本部はパリにある。

RSF は、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標は RSF が作成したアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

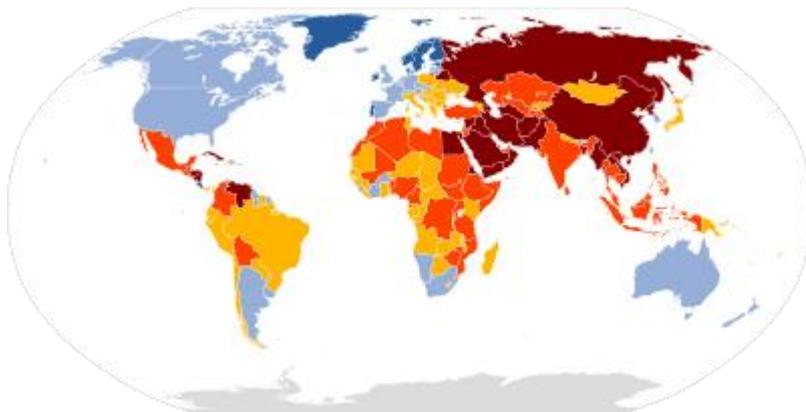
2022年版 Press Freedom Index は世界180カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに

対する各国の対応ぶりを評価したものである。アンケートではメディアの独立性、政府機関の透明性など7つのカテゴリーにわたる87の設問に対し、130カ国のジャーナリストが回答したものを統計処理し、各国毎に0点から100点の得点が付けられている。最も自由度が高い場合が100点であり、最悪の評価が0点である。

なおアンケートは毎年行われるため、直近に報道の規制または記者の逮捕などの政府の取材妨害があった国、或いはジャーナリストが誘拐・殺害に遭った国についてはその年のランクが低くなる傾向がある。RSF 自身は、このランクは「報道の質」の良否を示すものではない、と断っている。

RSF のレポートでは点数(ポイント)に応じて各国の自由度を下記の5つに分類し色分けをした世界地図を掲載している。

- (1) 青色 : 100~85ポイント(Good situation)
- (2) 空色 : 84~70ポイント(Satisfactory situation)
- (3) 橙色 : 69~55ポイント(Noticeable problems)
- (4) 赤色 : 54~40ポイント(Difficult situation)
- (5) 緋色 : 39ポイント以下(Very serious situation)



(世界180か国中で日本は71位、上位は北欧諸国が独占！)

2. 2022年の世界ランク及び2021年との比較(末尾表 10-T01 参照)

2022年の報道の自由度世界1位はノルウェーである。これに続く世界5位までにはデンマーク、スウェーデン、エストニア及びフィンランドが入っており、いずれも北欧諸国である。ノルウェーは昨年に引き続き世界1位であり、デンマークは昨年の4位から2位に、またフィンランドは昨年の2位から今回は5位である。またエストニアは昨年の15位から順位を大幅に上げている。

日本を含む主要な国々の世界ランクを見ると、米国はスコア72.74で世界42位である。これに次ぐ世界43位に韓国が選ばれている。日本は両国よりも低くスコア64.37で世界71位である。スコアと順位を昨年と比較すると、米国はスコアが3.33悪化しているが順位は2ランク上がっており、日本はスコアが6.75下がり、順位も4ランク下がっている。日本以外のG7の国々はドイツ(16位)、カナダ(19位)、英国(24位)、フランス(26位)、米国(42位)、イタリア(58位)といずれも日本より報道

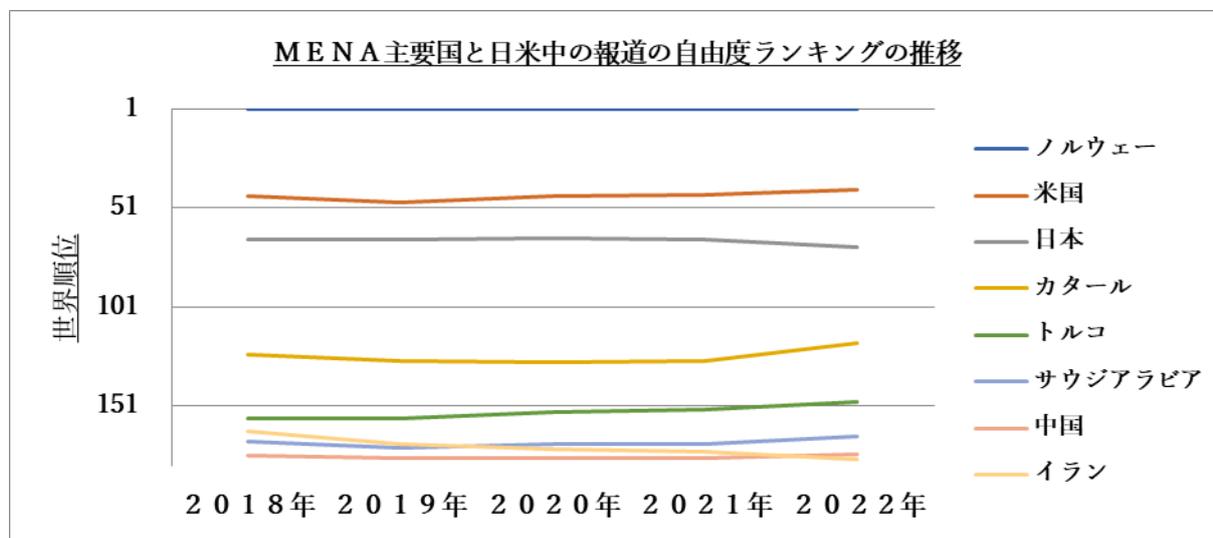
の自由度が高いとされている。また BRICs 諸国は世界100位以下にとどまっており、ブラジル(110位)、インド(150位)、ロシア(155位)、中国(175位)である。特に中国は調査対象国180カ国中でほぼ最低レベルに評価されている。

中東諸国を見ると、トップはイスラエルで同国の世界順位は86位と世界のほぼ中位である。しかし同国以外の中東各国はいずれも100位以下であり、その中で比較的高いのはカタール(119位)、ヨルダン(120位)である。カタール以外の GCC 諸国は UAE が138位であり、クウェイト(158位)、オマーン(163位)、サウジアラビア(166位)、バハレーン(167位)など多くは世界150位以下にとどまっている。カタールはアラビア語圏ではもっとも人気の高いアル・ジャジーラ放送の拠点であり、欧米諸国からは国際報道姿勢を高く評価されているが、同国自身にかかわる取材は他の GCC 諸国と同様強く規制されているようであり、報道の自由度としての同国の評価は必ずしも高くない。

中東の主要国であるトルコ、エジプト及びイランの世界ランクはそれぞれトルコ149位、エジプト168位、イラン178位でありいずれも自由度の評価は非常に低い。3か国のスコアを前年の2021年と比較すると、トルコは50.21→41.25、エジプトは43.83→30.23、イランは27.30→23.22といずれも大幅に悪化している。

(ノルウェーが5年連続世界一位、世界最低レベルを抜けられない中国！)

3. 日米中と中東主要国の世界ランクの推移(2018年～2022年)



2022年世界一位のノルウェーに加え日本、米国、中国及び中東4か国(カタール、トルコ、サウジアラビア及びイラン)の2018年から2022年までの5年間の世界ランクの推移を見ると、ノルウェーは5年連続でトップを維持している。

米国の世界順位は45位(18年)→48位(19年)→45位(20年)→44位(21年)→42位(22年)と40位台が続いており、2019年以降は毎年少しずつ順位を上げている。日本の順位は67位(18年)→67位(19年)→66位(20年)→67位(21年)→71位(22年)と変化しており、近年は順位が低下する傾向にある。

中東のカタールとトルコは、カタールが125位(18年) →128位(19年) →129位(20年) →128位(21年) →119位(22年)であり、昨年まで120位台で下降気味であったが今回は119位に上がっている。トルコは157位(18年) →157位(19年) →154位(20年) →153位(21年) →149位(22年)と毎年順位が改善している。サウジアラビアとイランは宗派の違い(スンニ派とシーア派)あるいは政治体制の違い(専制君主制と宗教独裁制)により対立する湾岸地域の二大国であるが、報道の自由度では両国とも世界最低のレベルである。特にイランは164位(18年) →170位(19年) →173位(20年) →174位(21年) →178位(22年)と5年連続で順位が低下し、今回は北朝鮮、エリトリアに次いで報道の自由度が世界で3番目に低い状態である。

中国の過去5年間の報道の自由度ランクは176位(18年) →177位(19年) →177位(20年) →177位(21年) →175位(22年)と全く変化がなく世界180カ国の最底辺にランク付けされたまま改善の兆候は見られない。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

報道の自由度(Press Freedom Index)ランキング

2022年			2021年		2022/2021年	
世界順位	国名	ポイント	世界順位	ポイント	順位	ポイント
1	ノルウェー	92.65	1	93.28	0	▲ 0.63
2	デンマーク	90.27	4	91.43	2	▲ 1.16
3	スウェーデン	88.84	3	92.76	0	▲ 3.92
4	エストニア	88.83	15	84.75	11	4.08
5	フィンランド	88.42	2	93.01	▲ 3	▲ 4.59
最下位 (180位)	北朝鮮	13.92	179	18.72	▲ 1	▲ 4.80
42	米国	72.74	44	76.07	2	▲ 3.33
43	韓国	72.11	42	76.57	▲ 1	▲ 4.46
71	日本	64.37	67	71.12	▲ 4	▲ 6.75
110	ブラジル	55.36	111	63.75	1	▲ 8.39
150	インド	41.00	142	53.44	▲ 8	▲ 12.44
155	ロシア	38.82	150	51.29	▲ 5	▲ 12.47
175	中国	25.17	177	21.28	2	3.89
	(中東主要国)					
86	イスラエル	59.62	86	69.10	0	▲ 9.48
119	カタール	49.03	128	57.40	9	▲ 8.37
130	レバノン	46.58	107	65.07	▲ 23	▲ 18.49
138	UAE	44.46	131	56.87	▲ 7	▲ 12.41
149	トルコ	41.25	153	50.21	4	▲ 8.96
166	サウジアラビア	33.71	170	37.27	4	▲ 3.56
168	エジプト	30.23	166	43.83	▲ 2	▲ 13.60
178	イラン	23.22	174	27.30	▲ 4	▲ 4.08

- ポイント別評価:
- (1) 100～85ポイント(Good situation)
 - (2) 84～70ポイント(Satisfactory situation)
 - (3) 69～55ポイント(Noticeable problems)
 - (4) 54～40ポイント(Difficult situation)
 - (5) 39ポイント以下(Very serious situation)